



管楽器部門 Wind



ザビエル・ラック Xavier Luck (フルート)

メルボルン大学を卒業後、英国王立音楽大学、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学の学生時代よりウィーンフィルハーモニー管弦楽団及び、ウィーン国立歌劇場の契約奏者を長年務めた。ロンドンフィルハーモニー管弦楽団、ウィーン交響楽団、シドニー交響楽団、NHK交響楽団など、数々の世界的オーケストラにゲスト奏者として招かれ、演奏会、レコーディングを行う。兵庫芸術文化センター管弦楽団の初代フルート奏者を務めた後、2008年からソウルフィルハーモニー管弦楽団の副首席奏者を務めた。2013年より神戸女学院大学音楽学部准教授。



伊勢敏之 Toshiyuki Ise(トロンボーン・指揮)

大阪芸術大学芸術学部演奏学科卒業。現在、大阪芸術大学教授、大阪音楽大学特任准教授、大阪成蹊大学・女子高等学校吹奏楽部指導者を中心に、吹奏楽指導者・指揮者として活動。またトロンボーン奏者としても、テレマン室内管弦楽団など、関西のオーケストラや室内楽等のエキストラとして演奏活動。一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会（JBA）、日本21世紀の吹奏楽“響宴”の各会員。日本吹奏楽指導者クリニックスタッフ。関西トロンボーン協会常任理事。トロンボーンを磯貝富治男、呉信一、伊藤清、室内楽を森下治郎、指揮を岩村力、増井信貴の各氏に師事。



辻 功 Isao Tsuji (オーボエ)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。1985年第1回国際オーボエコンクール第2位（第1位なし）。87年北西ドイツ音楽大学（デトモルト音楽院）を首席で卒業。在学中、オーボエをH.ヴィンシャーマン、G.シュマルフスの両氏に師事。92年読売日本交響楽団に首席として入団。2020年3月同団を退団する。92年、95年、99年リサイタルを東京にて開催し好評を博す。

現在、洗足学園音楽大学教授、学部長補佐、国立音楽大学客員教授、日本大学芸術学部講師、日本オーボエ協会理事長。



日本国際音楽コンペティション 審査員

管楽器部門 Wind



山腰 まり Mari Yamakoshi (フルート・ピッコロ)

桐朋学園大学音楽学部卒業。米国ジョーンズ・ホプキンス大学ピーバディ音楽院ディプロマ課程首席修了。第6回日本フルートコンヴェンションコンクールアンサンブル部門第1位、第47回全日本学生音楽コンクール全国1位、第8回松方ホール音楽賞大賞受賞、第12回フルートコンヴェンションピッコロコンクール第1位、第20回京都芸術祭毎日新聞社賞受賞。兵庫芸術文化センター管弦楽団アソシエイト・プレイヤー、相愛大学音楽学部講師。リサイタル開催及び国内外オーケストラに客演出演。フルートを安藤史子、小久見豊子、西田直孝、峰岸壮一、マーク・スパークス各氏に、ピッコロをローリー・ソコロフ氏に師事。



井上 麻子 Asako Inoue (サクソ)

大阪音楽大学を卒業後、フランス国立セルジー・ポントワーズ音楽院を経て、フランス国立パリ高等音楽院サクソフォン科を審査員全員一致の首席で修了。文化庁派遣芸術家在外研修員として奨学金を授与される。兵庫県芸術奨励賞、サントリー芸術財団「佐治敬三賞」、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞等を受賞。国内外の音楽祭、コンサートに出演するほか、台湾、フランス、中国の国際サクソフォンコンクール、また日本各地のコンクール等の審査員を務めている。パリ国立高等音楽院サクソフォン科入学試験・卒業試験の審査員を3度務める。現在、大阪音楽大学特任准教授。



藤原功次郎 Kojiro Fujihara (トロンボーン)

洗足学園音楽大学非常勤講師。兵庫県立西宮高校音楽科卒業。東京藝術大学をアカンサス音楽賞を受賞し首席で卒業。これまでに国内オーケストラ、ウィーン交響楽団首席奏者などを客演。2012年オーストリア国際管楽器コンクールで全部門から優勝、オーストリア名誉市民賞受賞、2016年シチリア島イブラ大賞国際音楽コンクール、全部門で優勝。これまでに兵庫県知事賞、兵庫県教育委員長賞(ゆずりは賞)、松方ホール音楽賞、坂井時忠音楽賞、Goldene Dohle 勲章、川西市民文化賞、兵庫県芸術奨励賞、カーネギーホールアワードを受賞。2017年済州島国際金管楽器コンクール審査員、イブラ大賞国際コンクール審査員と、イブラ大賞受賞記念ワールドツアー。国際原子力機関IAEA、カーネギーホールなど名だたるホールで演奏。テレビ朝日【題名のない音楽会】はじめ、雑誌、ラジオなど、様々なメディアに出演。またレコーディングも積極的に行いNHK大河ドラマ【軍師官兵衛】はじめ、連続テレビ小説【半分、青い。】映画【曇天に笑う】、映画、アニメ【Psycho-pas】【亜人】などのBGMを担当。アジア、イタリア、ウィーン、アメリカ、オーストラリアと国際的に活動。



弦楽器部門 Strings



漆原 啓子 Keiko Urushihara (ヴァイオリン)

第8回ヴィニャフスキ国際コンクールにおいて最年少18歳で日本人初の優勝。翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。ソリスト、室内楽奏者としての活動はいずれも高く評価され円熟期を証明している。国内外の音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。CDは文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、レコード芸術特選盤に選出されるなど注目を浴びている。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも高い支持を得ている。現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授。



上塚憲一 Kenichi Kamitsuka (チェロ)

1981年京都市立芸術大学音楽学部卒業。チェロを黒沼俊夫氏、バロックチェロをA.ビルスマ、室内楽をG.ボッセ、S.スタンデイジの各氏に師事。1991年、1998年に大阪文化祭賞・奨励賞及び第15回神戸灘ライオンズクラブ賞を受賞。1992年第1回坂井時忠音楽賞を受賞。現在は大阪音楽大学教授、同音楽院登録講師、県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。地域での活動として明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、同管弦楽団運営副本部長、同ジュニア・オーケストラ常任トレーナー、アンサンブル・ジョワン音楽監督及び常任指揮者、アンサンブル・オルタンシア・神戸指揮者、チェロアンサンブルKobe音楽監督及び常任指揮者を務める。西宮音楽協会会員。



嶽崎あき子 Akiko Takezaki (ヴァイオリン)

愛知県立芸術大学音楽学部弦楽器専攻卒業。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学首席卒業。ソリストとして室内オーケストラ「フランツ・リスト・ワイマール」とバッハ作曲ヴァイオリン協奏曲を共演。MDR（中部ドイツラジオ放送局）にて多数の録音に携わる。Speyerer Morgenpost新聞、Die Rheinpfalz新聞にて賞賛される。ワイマール国立歌劇場オーケストラアカデミー卒業。その後ワイマール国立歌劇場オーケストラ契約団員となる。ドイツ国立ワイマール・フランツ・リスト音楽大学「国家演奏家資格ソリストコース」に在籍。同年、ドイツで行われた国際ヴァイオリンコンクールにおいて入賞と同時に特別賞を受賞。同年、DAAD（ドイツ学術交流会・学内1位）奨学金を授与される。同年、Joseph Joachim国際室内楽コンクールにてディプロマ取得。満場一致最高得点でドイツ国家演奏家資格を獲得の上、首席で卒業。日本演奏連盟会員。西宮音楽協会会員。日本弦楽指導者協会会員。



弦楽器部門 Strings

**摩数意 英子 Eiko Masui (ハープ)**

東京藝術大学日本画科を卒業後ハープに転向。イタリア政府給費留学生としてローマのサンタ・チェチーリア音楽院を最優秀の成績で卒業。帰国後東京藝大大学院ハープ科修了。ヨーロッパや東京及び各地でリサイタルも数多く開催している。18Cのシングルアクションハープや正倉院に残る箜篌(復元)による演奏も行う。絵画とのコラボレーションなど創造性溢れる活動をしている。元神戸女学院大学非常勤講師。東京、鎌倉、京都、西宮、加古川でハープ教室を開いている。2022年半どんの会文化賞受賞。日本ハープ協会理事。スタジオレジーナ主宰。



打楽器部門 Percussion



塚越 慎子 Noriko Tsukagoshi

パリ国際マリimbaコンクール第1位はじめ、ベルギー国際マリimbaコンクール、世界マリimbaコンクール等、国内外のコンクールにて受賞多数。皇居内桃華楽堂にて御前演奏、世界最大の打楽器フェスティバルPASICにてソリストとして出演他、アメリカ、ヨーロッパ、南米より招待を受け国際的に活動中。ソロ活動の他、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、群馬交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団ほかと共演し、高い評価を得ている。CDはこれまでに3枚リリース、デビューアルバムはレコード芸術誌にて特選盤に選出。国立音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。第22回出光音楽賞受賞。長い伝統と権威ある同賞において、初の打楽器奏者の受賞となる。



高田 亮 Ryo Takata

神奈川県出身のマリンビスト。日本管打楽器コンクール高校生の部金賞、全日本演奏家協会主催ソリスト・コンクール第3位。1992年洗足学園大学を首席で卒業、1993年同大学音楽専攻科修了。デビュー・リサイタル開催以来全国ソロ・コンサート・ツアーを展開する。毎回凝った衣装で楽しめるステージを見せ、ビジュアル系マリンビストとして活躍。3枚のソロアルバムリリース。ソロ活動の他、ディズニーツアーや吹奏楽団の指揮、音楽監督としても活動。現在ブラスエクシードトウキョウティンパニ奏者。洗足学園音楽大学、県立弥栄高校打楽器科講師の他、吹奏楽やソロコンクールの指揮者を歴任。

実行委員会 委員長

間瀬尚美 Naomi Mase

同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学《頌啓会》特別専修課程修了。兵庫県立芸術文化センター大ホールにて「間瀬尚美ワンコインコンサート」等多数のコンサートに出演のほか、2015年には東京藝術劇場にて川瀬賢太郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団とマリimba協奏曲をソリストとして共演。またアメリカカロサンゼルスにて「2008Zeltsman Marimba Festival」参加し、ファイナルコンサート出演。2019年メキシコにて「チャパス国際マリimbaフェスティバル2019」に日本代表で招聘され、マスタークラスやコンサート等を行う。神戸新聞松方ホール音楽賞選考委員奨励賞、神戸新人音楽賞コンクール優秀賞、ひょうごアーティストサロン賞、平成24年度兵庫県坂井時忠音楽賞、平成26年度神戸市文化奨励賞、平成28年度兵庫県芸術奨励賞各受賞。現在、大阪音楽大学、神戸女学院大学音楽学部、県立西宮高等学校音楽科各講師。





打楽器部門 Percussion

**西岡 まり子 Mariko Nishioka**

同志社女子大学、フライブルク音楽大学、バーゼル音楽大学院卒業。平成18年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。第56回ミュンヘンARD国際音楽コンクール打楽器部門ファイナリスト及び特別賞。第44回ダルムシュタット国際現代音楽祭。日本ジュニア管打楽器コンクール第1位、第25回日本管打楽器コンクール等入賞。平成21年度平和堂財団芸術奨励賞。ソロ・室内楽・オーケストラ・オペラ・収録等に参加。近年では小曽根真・児玉桃・大場章裕 各氏とのバルトークツアー、サントリーサマーフェスティバルに於いて読売日本交響楽団とマリンバ協奏曲を新作初演し好評を博した。2021年よりサクソフォン・打楽器によるDuo Märzを結成。委嘱新作や日本初演作品演奏、動画配信など意欲的な活動を行なっている。関西打楽器協会理事。

**森本 瑞生 Mizuki Morimoto**

京都市立芸術大学卒業。シンガポール国立大学・ヨンシュウトー音楽院、ジョンズ・ホプキンス大学・ピーボディ音楽院（交換留学）を経てニューヨーク・ジュリアード音楽院大学院修了。Bright Sheng作曲のマリンバ協奏曲『Deep Red』のソリストを務め、地元紙straight timesにて『色彩豊かで繊細な演奏』と評された。シンガポールでは全額給付奨学金、NYではEdward Jabes奨学金、Ruth Katzman奨学金、Ute Krayenbueh奨学金を受ける。ニューヨーク州立ストーニーブルック大学でティーチングアシスタントを務め、現在、京都市立芸術大学専任講師。イノヴェーティブ・パーカッションのアーティスト。令和4年度京都市芸術新人賞受賞。



声楽部門 Vocal Music



高橋 薫子 Nobuko Takahashi (ソプラノ)

国立音楽大学大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。イタリア声楽コンクールでシエナ大賞、没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞。'91年からミラノ留学。「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「セビリアの理髪師」「ルチア」「愛の妙薬」「ロメオとジュリエット」「ランスへの旅」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「泥棒かささぎ」「トゥーランドット」「タンクレーディ」「夢遊病の女」等多数のオペラのほか各地でのリサイタル、宗教曲、第九などオーケストラとの共演においても高い評価を得ている。五島記念文化賞オペラ新人賞、村松賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、ホテルオークラ音楽賞などを受賞。藤原歌劇団団員。国立音楽大学客員教授、東京藝術大学講師。



日紫喜 恵美 Emi Hishiki (ソプラノ)

京都市立芸術大学大学院修了。在学中、文化庁芸術家国内研修員。オーストリア政府給費留学生としてモーツァルトウム、ロータリー奨学生としてミュンヘン国立音大に留学。日本モーツァルト音楽コンクール第1位。日本音楽コンクール第2位。バルセロナ国際コンクールソプラノ・リリコレジェーロ賞。トゥルーズ国際コンクール聴衆賞。ベルギー国際声楽コンクール第2位など受賞多数。日生劇場『魔笛』夜の女王として在学中にデビュー。以降多数のオペラに主演。小澤征爾指揮、ローラン・ペリ演出の『ジャンニ・スキッキ』や佐渡裕指揮『キャンディード』宮本亜門演出による同ミュージカル主演。ブルガリア・ソフィア音楽祭、韓国・FIFA公式演奏会をはじめ、ドイツ、オーストリア、スイスなどでの『リゴレット』、ミラノ、ヴェルディホールにおけるヴェルディガラコンサートなど海外でも活躍。関西二期会会員。京都市立芸術大学准教授。



並河 寿美 Hisami Namikawa (ソプラノ)

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。新国立劇場「おさん一心中天網島より」、兵庫県立芸術文化センター「蝶々夫人」「トスカ」「フィガロの結婚」「メリー・ウィドウ」、びわ湖ホール/神奈川県民ホール「トゥーランドット」「アイーダ」「タンホイザー」、日生劇場「フィデリオ」、東京二期会「イル・トロヴァトーレ」等多数に出演。ベートーヴェン第九（ズービン・メータ/NHK交響楽団）、マラー『復活』（大野和士/東京フィル）、ヴェルディ『レクイエム』（パオロ・カリニャーニ/読売日本交響楽団）をはじめ、数々のソリストを務める。平成30年度文化庁芸術祭賞大賞、令和元年度兵庫県文化賞、他受賞。大阪音楽大学特任准教授。東京二期会会員。昨年11月ボローニャ歌劇場日本公演『トスカ』において、急遽代役として出演し注目を集めた。



声楽部門 Vocal Music



西側 真理子 Mariko Nishigawa (ソプラノ)

大阪音楽大学を卒業後、イタリア国立ミラノ・ヴェルディ音楽院声楽科にて学ぶ。8年間にわたりイタリア各地でオペラ「トスカ」「ラ・ボエーム」等への出演をはじめ、音楽祭、コンサートの分野でもソリストとしての豊富な実践経験を得た。帰国後は「夕鶴」「蝶々夫人」「椿姫」のタイトルロール出演をはじめ、各地でのオペラ、リサイタルに出演、国内外のオーケストラ公演ソリストとしても招聘され海外公演も多数参加している。

現在 宝塚音楽学校、大阪音楽大学附属音楽院講師。東京二期会会員。



榎 貴志 Takashi Masu (バリトン)

大阪音楽大学声楽科を卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。第37回イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞。第23回五島記念文化賞オペラ部門新人賞受賞。第30回坂井時忠音楽賞受賞。第27回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位および中田喜直賞受賞。新国立劇場、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、佐渡裕プロデュースオペラ、日生劇場等の国内の主要オペラプロダクションに出演する他、ヴァチカン国際音楽祭(サン・ピエトロ大聖堂)において、ヴェルディ「レクイエム」を演奏する等、宗教作品ソリストとしても定評がある。NHK-FM「名曲リサイタル」「リサイタル・ノヴァ」テレビ朝日「題名のない音楽会」等、メディアへの出演も重ねている。東京二期会会員。



松原 友 Tomo Matsubara (テノール)

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財団奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞(聴衆賞)、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京藝術大学、京都市立芸術大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、夕陽丘高校、相愛高校、各非常勤講師。東京二期会、日本演奏連盟、日本シューベルト協会会員。



ピアノ部門 Piano



鳥居 知行 Tomoyuki Torii

大阪音楽大学附属音楽高等学校を経て、大阪音楽大学音楽学部卒業。1986年同大学大学院修了。その後、渡独し、ミュンヘン国立音楽大学大学院（マイスタークラス）修了。92年帰国後は数多くのリサイタル開催の他、オーケストラとの協演も多く、大阪交響楽団をはじめ、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、モーツァルト室内管弦楽団、テレマン室内オーケストラ等と協演。また、2010年チェコから来日したマルティヌ弦楽四重奏団との室内楽でも好評を博す。86年第5回新人音楽コンクール第2位。90年ヴィオッティ・ヴァルセシア国際音楽コンクールロマン派部門第4位入賞。97年度大阪文化祭本賞受賞。現在、大阪音楽大学副学長、教授、ピアノ専攻主任。



石井 なをみ Naomi Ishii

神戸女学院大学音楽学部卒業。同研究生修了。国際ロータリー財団奨学生としてザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学大学院演奏家コースに留学。各種コンクール審査員。ショパン国際コンクール・イン・ハートフォード「優秀指導者賞」、パデレフスキー国際コンクール「優秀指導者賞」を受賞。ロザリオ・マルチーノ国際コンクール審査員。アメリカ・ハートフォード・ショパン国際コンクール審査員。ポーランド・ブスコフ・ズィドロイにてクリスティアン・トカチェフスキー国際コンクール審査員。パデレフスキー国際コンクール審査員。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員。日本バッハコンクール実行委員長。ピティナ指導者育成委員、大阪音楽大学特任教授、神戸女学院大学・大学院、昭和音楽大学・大学院、兵庫県立西宮高等学校音楽科、各非常勤講師。



岡田 将 Masaru Okada

桐朋女子高等学校音楽科在学中に日本音楽コンクール優勝。モーツァルテウム音楽院、ベルリン国立芸術大学に留学。99年オランダのリスト国際ピアノコンクールに日本人として初めて優勝。国内外のオーケストラと共演。また、オール・リスト・シリーズ、バッハ：パルティータ全6曲コンサート、ベートーヴェン：ピアノソナタ全曲シリーズ、2018年にはリスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートを開催し話題となる。また、同年12月にはスペインの巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』（オクタヴィア／レコード芸術準特選盤）をリリース。高い評価を得ている。神戸女学院大学准教授。



ピアノ部門 Piano



鳥羽瀬 宗一郎 Soichiro Tobase

熊本県天草市出身。国立音楽大学、ウィーン国立音楽大学ピアノコンサート科卒業。国内外のコンクールに入賞、入選し、国内各地、ウィーン、ドイツにてソロ、室内楽の演奏会を行う。2002年に帰国記念デビューリサイタルを開催し好評を博すも、演奏中に指が巻き込んでしまう原因不明の難病『ジストニア』に襲われ演奏活動を一時休止する。演奏中に指が巻き込む状態は続いているが、演奏活動を再開。現在は埼玉県狭山市に拠点をおき、演奏活動、コンクール審査、トークコンサートやスクールコンサートを行うなどその音楽活動は幅広い。また門下生からは多数のコンクール入賞者を輩出するなど、後進の指導力にも定評がある。洗足学園音楽大学・大学院ピアノコース教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、および指導者育成委員会委員。国際ピアノデュオ協会会員。



青井 彰 Akira Aoi

東京藝術大学付属高校を経て、東京藝術大学ピアノ科卒業。ウィーンに留学。田村宏、松浦豊明、ブルーノ・サイドルホーファー、ヨゼフ・ディヒラー、ハンス・カン、レオニード・プルンベルグ、オレグ・マイセンペルク、ミエチスラフ・ホルショフスキーの各師に師事。ミラノ、ウィーン、東京、横浜、大阪、神戸他国内各地でソロ、室内楽等の演奏会を行う。現在、兵庫県立西宮高校音楽科の非常勤講師。



城 沙織 Saori Jo

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部音楽学科器楽専攻、及び同大学大学院音楽研究科修士課程を共に首席で修了。ハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞。大学推薦で訪米、ミネアポリス、シカゴ及び在シカゴ日本国総領事館で公演。日本・オマーン外交関係40周年記念事業として在オマーン日本国大使館主催の演奏会に出演。テレマン室内オーケストラと共演。平成26年度ひょうごアーティストサロン賞受賞。ヨーロッパ国際ピアノコンクール特別優秀指導者賞受賞。京田辺市音楽コンクール審査員。神戸女学院大学音楽学部、兵庫県立西宮高等学校音楽科講師。



ミュージカル部門 Musical

**tekkan**

大阪音楽大学声楽科卒業。ミュージカル俳優、演出、ボイストレーナー。主な出演作に「レ・ミゼラブル」「ミス・サイゴン」(トゥイ役)「MOZART!」「キャンディード」「レベッカ」(ベン役)「マリアアントワネット」(ラフェルテ役)「マルグリット」(ルシアン役)「tick,tick...BOOM!」(マイク役)他。演出作品には「Catch Me If You Can!」「Into The Woods」「Little Women」他。歌唱指導では韓国ミュージカル「HOPE」東宝主催海宝直人コンサート『ATTENTION PLEASE!2』東宝ミュージカル『Girl Friend』等。現在、洗足学園音楽大学ミュージカルコース統括教授。

**風間 友香子 Yukako Kazama**

大阪音楽大学声楽専攻卒業。ウイーンマイスターコース修了、ディプロマを取得、修了演奏会に出演。第3回リトルカメリアコンクール入選。ソロリサイタル2回開催。数々のオーケストラと共演。オペラ、オペレッタは「こうもり」アデーレ、「カルメン」ミカエラ、「メリーウイドゥ」バランシェンヌ、「ジプシー男爵」アルゼナ、「コジファントウツテ」デスピーナ、「源氏物語」葵の上、「赤い陣羽織」おかか役他、多数出演。コンサートも多数出演。宝塚音楽学校、百合学院中、高等学校声楽講師。関西歌劇団所属。川西音楽家協会役員。

**中尾 理恵 Rie Nakao**

大阪音楽大学声楽学科、声楽専攻科卒業。アメリカ ペンシルヴァニア州テンプル大学院Voice Performance 研究室卒業Master of Musicの称号をテンプル大学より得る。

劇団四季 関西歌劇団Boyer College of Music and Dance等の公演に多数出演。現在、テアトルアカデミー大阪校、アクトレスK等の講師。



ミュージカル部門 Musical

**楠木 稔 Minoru Kusunoki**

ミュージカル俳優として、劇団四季の『ノートルダムの鐘』の他、『アニーよ銃をとれ』ポウニー・ビル役、『ズボン船長』ソックラテス役等、全国各地の公演に出演。ミュージカル3部作『サクラ・サク』では、一人芝居ミュージカル『夜明け』・二人芝居ミュージカル『10カウント』・三人芝居ミュージカル『サクラ・サク』の3作に主演で出演。その他、テレビ・ラジオ・インターネット等のCMソングを数多く歌う。ボイストレーナーとしても活動し、武庫之荘クスノキ音楽教室の主宰として後進の育成に努める。大阪音楽大学専攻科声楽専攻修了。所属事務所：KとS株式会社所属。

全部門 エグゼクティブプロデューサー
実行委員会 会長**榎本輝明 Teruaki Enomoto(テノール)**

大阪音楽大学音楽学部最優秀賞を授与され首席卒業。ローマ・ミラノに留学。マルツィアーリ音楽院修了。全日本学生音楽コンクール高校の部西日本第1位、同コンクール大学・一般の部西日本第1位。兵庫県高等学校独唱コンクール第1位最優秀賞・神戸新聞社賞・審査員特別賞受賞。カンツォーネコンクール優勝。その他多数の受賞歴。ミラノ、姫路、大阪にてソロリサイタルを行う。関ジャニ∞ドラマシリーズ『ダブル複体』に出演。NHK・FM名曲リサイタル『ニューエイジ・クラシック』に出演や第九などオーケストラとの共演も多数。

株式会社アートインターナショナルオフィス 代表取締役。